

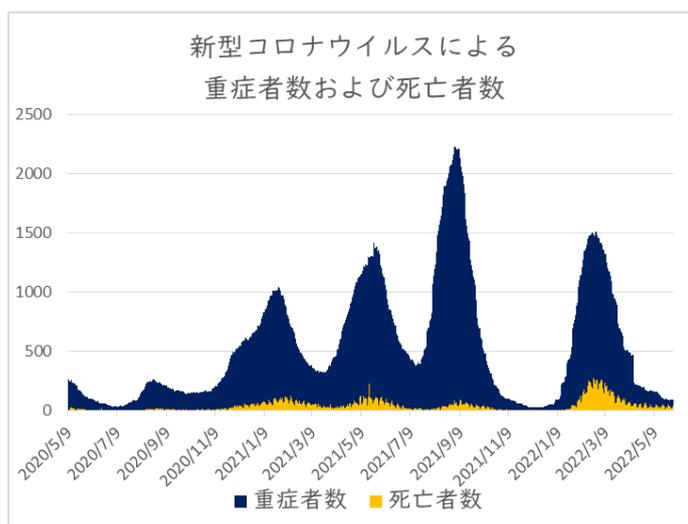
【68】マスクの着用ルールについて

経営者・総務人事担当者みなさま、海外からの旅行者の受け入れの拡大など、新型コロナウイルス感染症対策の緩和が進められています。「屋外ではマスクを外しても良い」ということも言われています。実際にどのように対応すれば良いのでしょうか。

1. 課題の背景:

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数がピークを越えて減少してきていますが、第5波のピーク時に近い新規感染者が報告されています。オミクロン株の特性やワクチン接種が進んだことなどで、重症者数は第5波までに比べると低いものの、死亡者数は多くなっており、楽観はできません(参考資料 1、下図)。その中で、経済活動を元に戻していくという難しいかじ取りが求められています。

対策を何でも省略していいというものでもなく、継続が必要な対策と省略できる対策とを、その意味をよく考えながら取舍選択していくことが各企業には求められています。その一環として、5月25日に政府から示されたマスク着用の考え方(参考資料 2)をもとに、マスク着用が必要な場面、外しても良い場面を確認しましょう。



2. 企業でできる対策

- マスクを着用する意義について理解する
- マスクを着用すべき場合、外しても良い場合のルールを設定する
- マスクを外しても良い場面でも着用を希望する従業員に配慮する

1) マスクを着用する意義について理解する

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としてマスク着用が推奨されているのは、感染者の飛沫によって感染が拡がることを防止するためです。飛沫は咳やくしゃみ、会話によって生じます。つまり、咳やくしゃみ、会話がなければマスクを着用する必要はありません。基本的な感染対策としてのマスク着用の考え方は、これまでと変わりはありません。

2) マスクを着用すべき場合、外しても良い場合のルールを設定する

これまでにクラスターが発生しやすい条件として、3つの密(密閉、密集、密接)が挙げられ

ており、特に感染力の強い株の場合は 1 つでも密があると感染のリスクが高まることが知られています。換気がしにくい場所、人との距離が保てない場所においてはこれまで通りマスクの着用が求められます。反対に、風通しの良い屋外や、換気の良い室内で人との距離が充分にあり、会話をすることなく作業をするような場面ではマスクを外していても感染のリスクは低いと考えられます。

屋内ではこれまで通りの対策が求められることが多いと考えられます。工場内で大きな機械に 1 人のオペレーターがついて作業するような場所ではマスクが必要ないかもしれません。オフィス内でも机の間隔が広く取れてパソコン作業に集中するような環境であればマスクを外しても良いでしょうが、座席の間隔が狭い場合や同僚との会話や電話の対応、オンライン会議などで発話する際には必ずマスクを着用します。これまでも、電話の際には目の前に人がいないことからマスクを外して話してしまうことが見受けられました。引き続き注意が必要です。部屋の換気が必要なことはこれまでと同じです。

マスクをすることにより安心感を得ている従業員もいると考えられますので、職場の状況に応じてマスク着用を緩和することを検討し、ルールを設定しましょう。

3) マスクを外しても良い場面でも着用を希望する従業員に配慮する

マスクを外すことに対して不安を覚える従業員がいるかもしれません。マスク着用のルールを緩和する場合も、「この場合はマスクを着用しなくても良い(着用することは妨げない)」という表現にするなどの工夫をしましょう。

3. 関連情報リンク・参考情報:

1) データからわかる-新型コロナウイルス感染症情報-(厚生労働省)

<https://covid19.mhlw.go.jp/>

2) マスク着用の考え方及び就学前児の取り扱いについて(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000942851.pdf>

文責: 櫻木 園子(一般財団法人京都工場保健会)

※本文章は、産業医有志グループ(今井・櫻木・田原・守田・五十嵐)で作成しました。和田耕治先生(国際医療福祉大学・公衆衛生学教授)のサポートも受けております。

今後も経営者・総務担当者向けに必要な感染拡大防止策情報を随時配信させていただきます。本情報は著作権フリーですので、ぜひお知り合いの経営者に拡散をお願いします。

※本内容に関するご意見・ご要望は、covid-19@ohsupports.com までお寄せください。

※これまでに配信しましたバックナンバーは、<http://www.oh-supports.com/corona.html> をご参照ください。

※動画も配信しております。下記サイトをご参照ください。

<https://www.youtube.com/channel/UC4IRPnKfYPC6cT1Jvom5VbA>



屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	<p>マスク必要なし</p>	<p>マスク着用推奨</p>
会話を ほとんど 行わない	<p>マスク必要なし</p> <p>公園での散歩やランニング、サイクリングなど</p>	<p>マスク必要なし</p> <p>徒歩や自転車での運動など、屋外で人とすれ違う場面</p>

	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	<p>マスク着用推奨</p> <p>※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可</p>	<p>マスク着用推奨</p>
会話を ほとんど 行わない	<p>マスク必要なし</p> <p>距離を確保して行う図書館での読書、技術鑑賞</p>	<p>マスク着用推奨</p> <p>通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう</p>

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに関するQ&A

